

“郡山”とは？

郡山市は現在、奈良市・久留米市・オランダ王国ブルメン市・鳥取市と姉妹都市提携を結んでいる。郡山市の歴史が縁をつないでいる。郡山についてみてみよう。

“郡山”の地名

古代の郡山は、現在の郡山市、田村郡、田村市、二本松市、本宮市、安達郡を含む“安積郡”の一部だった。安積郡はその後北部地域が安達郡として分置された。

清水台遺跡（郡山市清水台）には、古代安積郡の郡家（郡衙とも）が置かれた。郡の役所である。郡家が置かれた地であることが“郡山”の地名の由来とされる。



岩代国安積郡郡山町方曲直図絵
郡山市中央図書館所蔵
宝暦11年(1761)頃の郡山の姿



現在の郡山市の様子
平成21年(2009)に郡山市役所周辺を上空から撮影
画像提供・郡山市

姉妹都市・奈良市—采女伝説のつながり

郡山町は、大正13年(1924)に小原田村と合併し、郡山市となった。翌年桑野村を合併している。昭和40年(1965)に安積郡9か町村と田村郡3か町村が合併し、新郡山市が誕生した。この年、采女伝説を題材とした第1回うねめまつりが開催された。同じ采女伝説が残る奈良市との交流が生まれ、采女伝説が取り持つ縁により、昭和46年(1971)8月5日に郡山市と奈良市の姉妹都市提携がなされた。采女は、奈良時代の宮中の女官。



第1回うねめまつりの様子
画像提供・郡山市



うねめまつりの様子
踊り流しやうねめ太鼓の演奏などが行われる
画像提供・郡山市